

災害発生時対応の在り方

有珠山噴火時の現地対応経験から
— 防災業務：日常から非日常への連続 —

平成28年10月31日

長野県防災総合アドバイザー

西出 則武

2000年3月31日の噴火



「平成12年（2000年）有珠山噴火」 噴火活動と対策の特徴

- ◆ 噴火予知の成功
- ◆ ミニ霞ヶ関の誕生
- ◆ カテゴリーの導入

ミニ霞ヶ関の誕生

- ◆ 平成7年（1995年）兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）を契機として、災害対策基本法第25条が改正され、同法の規定に基づき「非常災害現地対策本部」を置くことができることとなった。
- ◆ 実際に設置されたのは、有珠山噴火が初めて。



6

Handwritten notes and documents pinned to the wood-paneled wall on the left side of the room.

Stacks of cardboard boxes and several rolled-up documents on the top desk level.

A man in a light blue button-down shirt sitting at a desk, looking down at his work.

Three men sitting at a long desk in the middle row, each with multiple microphones in front of them. They appear to be engaged in a discussion or presentation.

A long desk in the foreground with various items including papers, a water bottle, and a small map or document.

A man in a plaid shirt sitting at a desk in the foreground, facing away from the camera. Other people's heads are visible in the lower-left corner.



現地対策本部の役割

- ◆ 火山活動の現状評価
- ◆ 一時帰宅等オペレーションの計画策定
- ◆ オペレーションのための特別火山監視
- ◆ オペレーション実施の可否決定



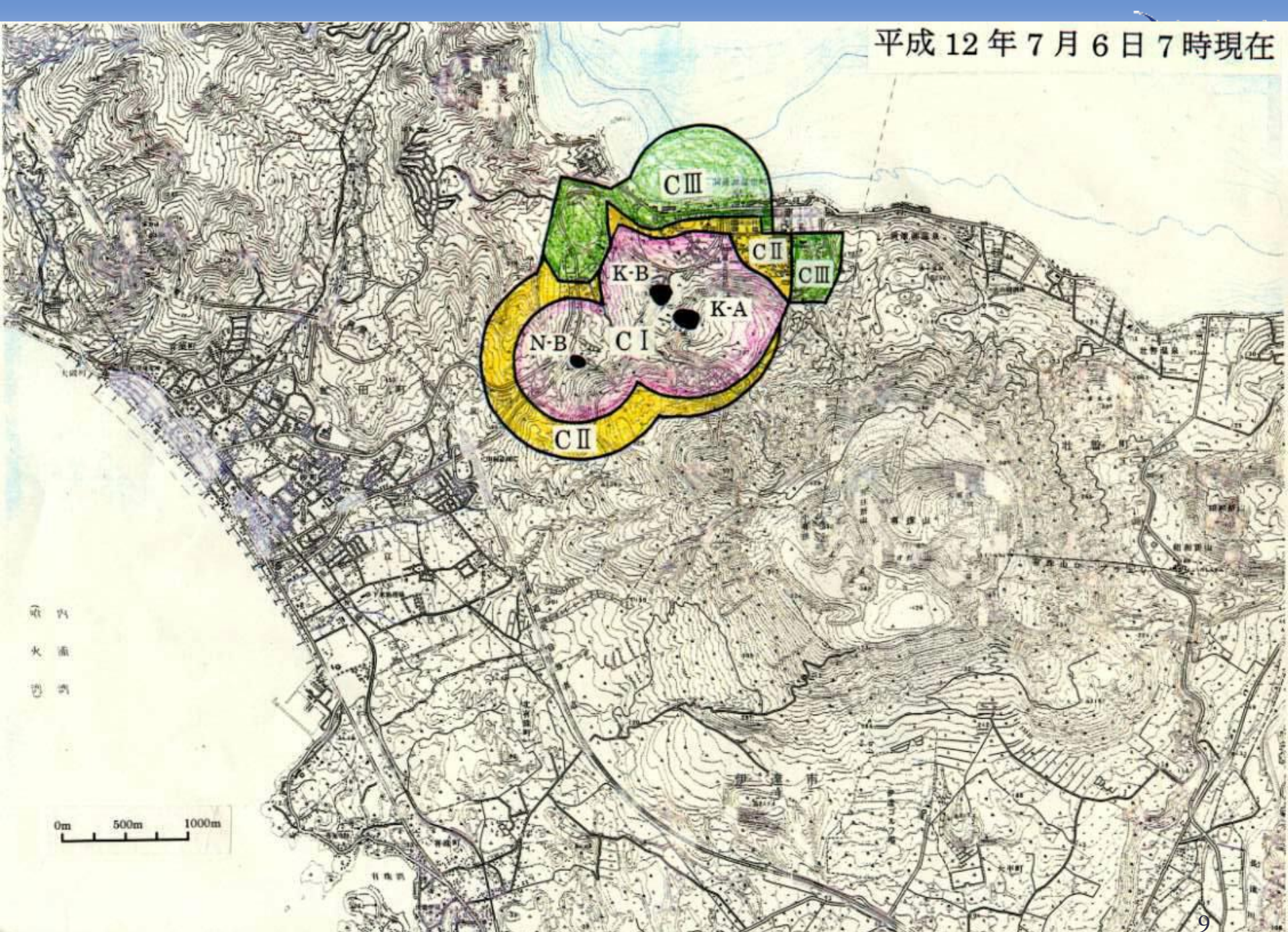
一時帰宅等オペレーション の計画策定

- ◆ 一時帰宅、農業・漁業等、復旧・復興作業のため避難指示地域への入域が必要



- ◆ 避難指示地域内を、噴石、火砕流等の危険度とこれらに対して取りうる安全対策に応じていくつかの段階(カテゴリー)に分けて、柔軟な対策を実施

平成 12 年 7 月 6 日 7 時現在



西
火
通
路

0m 500m 1000m

オペレーション実施の可否決定

- ◆ 火山活動の現状、気象条件等が安全な一時帰宅等を行うための条件を満たしているかどうかを判断し、当日のオペレーションを実施するかどうかを決定











第7師団
災害派遣
第11普通科連隊

91-8069

★ 迫重普

防災の仕事に必要なこととは

平常時の準備と災害発生時の臨機の対応

有珠山の場合、ハザードマップの整備と住民の高い火山防災意識がなければうまくいかなかった（**平常時の準備**）。

加えて、現地の状況を踏まえ、カテゴリーの設定など**前例**や**既存の枠組みに囚われない**最善の策を模索する必要があった（**災害発生時の臨機の対応**）。

対策本部等が設置されている**特別な状況**であることを踏まえれば、通常の判断基準ではNOとなることもYESとなりえる（**通常業務と同一基準では対処不能**）。

おわり

